



繼續專門教育 (CPE) 方針

公認情報システム監査人 継続専門教育(CPE)方針

目次

概要.....	2
公認要件	2
一般的な要件	
年次および3年間の報告期間	
CISA 管理手数料の支払およびCPE 時間数の報告	
公認要件確認の年次通知	
CISA ロゴの使用条件	
CPE 時間数の監査.....	3
記録の保存.....	3
資格の取消.....	3
再審議と不服の申し立て.....	3
退職後および一時休職のCISA の地位.....	3
退職CISA の地位	
一時休職CISA の地位	
適格専門教育活動.....	4
CPE 時間数の計算.....	5
連絡先	5
情報システムコントロール協会職業倫理規則	6
出席証明書.....	7
教育記録書式.....	8

公認情報システム監査人 継続専門教育(CPE)方針

概要

継続専門教育 (CPE: Continuing Professional Education) 方針は、CISA 全員が、情報システムの監査、コントロール、セキュリティの分野で、現在持っている十分な水準の知識と熟練度を維持することを目標としています。CISA が CPE 方針を遵守すれば、更に訓練を積んで情報システムと技術を評価でき、リーダーシップを発揮して組織の価値を高めることになるでしょう。

CISA 認定委員会は、CPE の要件を規定する責任を負っています。同委員会は、CPE の手続と要件が適切なものとなるように、これらを監督します。

公認要件

一般的な要件

CISA の CPE 方針では、毎年および 3 年間の公認期間に、一定時間、CPE を受けることが必要とされます。CISA は公認されるために、下記の要件を満たすものとします。

- CPE を毎年少なくとも 20 時間受けて報告する。これらの時間数は、CISA が CISA 関連業務を遂行するために必要な知識や能力を維持、向上させるために適切な時間数です。専門教育が複数の ISACA 資格それぞれの業務関連知識を満たす場合には、複数の資格の CPE 時間数要件に対してこれらの時間を使用できます。
- 毎年 ISACA 国際本部に、CPE の管理手数料の全額を支払う。
- 3 年間の報告期間中に、CPE を少なくとも 120 時間受けて報告する。
- 年次監査に選ばれた場合、CPE 活動として必要な文書を提出する。
- ISACA 職業倫理規則を遵守する。

これらの公認要件を遵守しなかった場合には、その個人の CISA 資格を取り消すことになります。

さらに、すべての資格認定の権限は ISACA に帰属しているため、資格を喪失した場合は、認定証書をすぐに破棄しなければなりません。

年次および 3 年間の報告期間

年次の報告期間は、毎年 1 月 1 日から始まります。3 年間の公認期間は人によって様々であり、その期間は、年次請求書と公認要件の年次確認書に記載しています。

新規に公認された CISA の方々については、年次および 3 年間の公認期間は、公認された翌年の 1 月 1 日から始まります。公認された年度中は、一定時間、CPE を受けることは必要とされていません。ただし、公認の日からその同じ年の 12 月 31 日までに受けた教育の時間数は、最初の報告期間に受けたものとして報告することができます。

CISA 管理手数料の支払および CPE 時間数の報告

公認情報システム監査人 (CISA) 認定の更新には、管理手数料の支払と CPE 時間数の報告が必要です。毎年第 3 四半期に、ISACA からすべての CISA に電子メールとハードコピーの両方で請求書が送られます。

年次管理手数料は、オンラインで支払うことができます (www.isaca.org/renew)。CPE は、その獲得時に Web サイトの [MyISACA]> [MyCertifications]> [Manage My CPE] ページに記録できます。認定の更新は、年次更新請求書で情報を提出して行うこともできます。資格保持のためには、1 月 15 日までに管理手数料の支払いと CPE 時間数の報告を行うものとします。

公認要件確認の年次通知

CISA が CPE を必要時間受けた報告をして、管理手数料を全額支払うと、ISACA 国際本部から確認書を受け取ります。この確認書には、CPE を受けた時間数が記載されています。すなわち、毎年の報告として承認された時間数、3 年間の公認期間中のうち過去の各年度に報告された時間数、3 年間の規定公認期間に必要とされる時間数が記載されています。この確認書にミスや省略があった場合、各 CISA が責任を持って、ISACA 国際本部に直ちに通知するものとします。

CISA ロゴの使用条件

CISA ロゴは、情報システムコントロール協会 (ISACA) がその個人が提供する製品またはサービスを保証することを示唆するため、個人的な使用 (名刺、ウェブサイト、マーケティングや販促資料での使用) は許可されません。ただし、ロゴに代わって「John Q. Customer, CISA」のように名前の後に CISA という略語を付加して使用することは許可されます。

公認情報システム監査人 継続専門教育(CPE)方針

CPE 時間数の監査

毎年監査のために、CISA のサンプルを無作為に抽出します。抽出により選ばれた CISA は、「適格専門教育活動」の項に記載されている基準を満たすものとして以前報告した活動について、文書による証拠を提出するものとします。文書は返却されないため、裏付け文書はコピーを送付してください。CISA 認定委員会は、具体的な専門教育活動に関し、承認する時間を決定します。監査の要件を満たさなかった場合は、CISA 資格を取り消されます。

記録の保存

CISA は、報告した CPE 活動を裏付ける文書を入手し、それを保管する必要があります。この文書は、3 年間の報告期間の終わりから少なくとも 12 ヶ月間、保管するものとします。この文書の形式は、書簡、終了証明書、支払領収書、出席簿、出席証明書（本方針に記載）、またはその他の独自の達成証明書とします。各記録には少なくとも、出席者の氏名、提供機関の名称、活動のタイトル、活動の概要、活動日、CPE を受けた、または受けたと主張する時間数を記載します。

資格の取消

CISA が CISA の CPE 方針を遵守できなければ、CISA 資格は取り消され、CISA と名乗ることはできません。CISA 資格を取り消された場合、CISA 試験を再受験して合格した上で、CISA 資格の申請書に記入して提出する必要があります。

再審議と不服の申し立て

CPE 方針に違反して資格を取り消された個人が資格の回復を申請する場合は、50 ドルの回復手数料が追加されることがあります。この回復手数料は、資格の取消が 61 日以上解消されず、2013 年 1 月 1 日以後に資格を回復された者に適用され、有資格者に CPE 方針を遵守させるための未納または現在の認定管理手数料に追加されます。認定試験受験者、資格申込者、または資格を保持する個人により行われる要請は、受験者、申込者、または個人の判断で自費で行われます。

退職後および一時休職の CISA の地位

退職 CISA の地位

55 歳を超えて退職した CISA、または永久的な身体障害のために情報システムの監査、コントロール、セキュリティの専門家としての義務を果たせなくなった CISA には、退職 CISA の地位を申請する権利があります。この地位を与えられた CISA は、CPE を一定時間受ける必要はありませんが、管理手数料は毎年支払わなければなりません。

一時休職 CISA の地位

情報システムの監査、コントロール、セキュリティの職を辞した CISA は、一時休職 CISA の地位を申請する権利があります。一時休職 CISA の地位についての申請は、年次請求書を添付した上で、1 月 15 日以前に ISACA 本部に必着するものとします。この地位を与えられた CISA は、CPE を一定時間受ける必要はありませんが、管理手数料は毎年支払わなければなりません。専門職に復職した場合には、有効な地位に戻る必要があります。退職 CISA および一時休職 CISA が名刺に「CISA」や「一時休職 CISA」を使用することは、以前は許可されていましたが、今は許可されていません。

退職 CISA または一時休職 CISA の地位の申請を考えている CISA は、一時休職または退職 CISA の地位に関する適切な申請書に記入し、提出する必要があります。詳細については、電話 (+1.847.660.5660)、ファックス (+1.847.253.1755) または電子メール (certification@isaca.org) にて、認定部門 (certification department) までご連絡ください。

公認情報システム監査人 継続専門教育(CPE)方針

適格専門教育活動

CPEとして認められる活動には、技術面の研修と管理面の研修があります。この研修は、バランス良く専門的な育成を行うために、情報システムの評価に直接適用できるか、または監査、コントロール、セキュリティに関わるスキル (www.isaca.org/cisajobpractice) を向上させるものでなければなりません。また、管理スキルに関連する CPE 時間は、監査または監査リソースの管理に関連するものでなければなりません。具体的に適格専門教育活動として分類されている場合を除き、実際の仕事で、CPE の時間数を獲得することは認められません。Microsoft Word や Excel などの基本的なオフィス生産性ソフトウェアの研修は、CPE としては認められません。活動によっては、CPE として認められる年間時間数に制限があります。CPE は、4 分の 1 時間 (15 分) 単位で報告できます。次の項目の適格活動と制限時間数が CISA 認定委員会に認められており、CPE として承認されています。

- **ISACA 専門教育活動と会議 (時間数の制限なし)**: これらの活動には、ISACA コンファレンス、セミナー、ワークショップ、支部プログラム、会議、関連活動があります。実際に参加した時間数に基づき、CISA は CPE の時間数を獲得できます。(「CPE 時間数の計算」のセクションを参照) ISACA 支部会議に出席した場合、実際の会議時間には関係なく、最低限の 1CPE 時間となります。支部のプログラムや会議に出席しても、その時点で ISACA データベースにすべて登録されるわけではありません。必ず出席の証明を保管しておいてください。
- **ISACA 以外の専門教育活動と会議(時間数の制限なし)**: これらの ISACA が後援していない活動としては、社内研修、大学コース、コンファレンス、セミナー、ワークショップ、専門的な会議、関連活動があります。更に、認定試験レビューコースについても、情報システムの監査、コントロール、セキュリティ、または監査関連の管理知識やスキルを向上させるようなものである場合、このようなコースに参加すれば、CPE の時間数を獲得できます。実際に参加した時間数に基づき、CISA は CPE の時間数を獲得できます。(「CPE 時間数の計算」のセクションを参照) ただし、大学コースの修了の場合、CPE の時間数は、2 学期制の 1 学期当たりで 15 時間、4 学期制の 1 学期当たりで 10 時間となります。(2 学期制の 1 学期 = 15 週間、4 学期制の 1 学期 = 10 週間)
- **独学コース (時間数の制限なし)**: これらの活動には、独学用に構成されたコースがあり、CPE の時間数を獲得できます。コース提供機関が終了証明書を発行し、その証明書にコースで獲得した CPE 時間数が記載されている場合のみ、これらのコースが認められます。ISACA® *Journal* のテストで合格点をとった場合にも、1 時間の CPE 時間が認められます。ISACA 会員は ISACA 後援のオンライン E ラーニングプレゼンテーションイベント (たとえば、仮想トレードショー、ウェビナーなど) に参加した場合に、追加の CPE を獲得できます。E ラーニングイベントの最新リストについては、www.isaca.org/elearning をご覧ください。ISACA® *Journal* テストおよび ISACA E ラーニング活動は、保有する各 ISACA 資格に反映させることができます (つまり、複数回カウントできます)。
- **ベンダーの販売やマーケティングのプレゼンテーション (制限時間数: 年間 10 時間)**: これらの活動には、情報システムの評価に関連するベンダーの製品やシステムについての具体的な販売プレゼンテーションがあります。
- **教育、講義、プレゼンテーション (時間数の制限なし)**: これらの活動には、情報システムの評価に関連する専門教育プレゼンテーションの考案と実施、および自習 / 通信教育コースの考案があります。プレゼンテーションとコース (すべての種類) については、初回の実施では、プレゼンテーション時間またはコースの予想所要時間の 5 倍の CPE 時間 (たとえば、2 時間のプレゼンテーションでは 10CPE 時間) を獲得でき、2 回目の実施では、実際のプレゼンテーション時間の CPE 時間を獲得できます。それ以降の同じ内容のプレゼンテーションについては、内容が大幅に変更される場合を除き、CPE 時間数は獲得できません。自習 / 通信教育コースの場合、受講修了までの予想時間の 2 倍の時間数を限度として、コースのアップグレード / 管理に費やす 1 時間ごとに 1 時間分の CPE 時間数を獲得できます。

公認情報システム監査人 継続専門教育(CPE)方針

- **記事、研究論文、書籍の出版 (時間数の制限なし)** : これらの活動には、情報システムの監査とコントロールの職業に、直接的な関係がある資料の出版やレビュー (印刷物またはオンラインのいずれでも可) があります。正式の出版やウェブサイト上に現れたものであり、要請された場合には、記事のコピーやウェブサイトのアドレスを提供するものとします。書籍と研究論文については、目次と見出しのページも必要です。CPE の時間数として、執筆や検討にかかった実際の時間数を獲得できます。
- **試験問題の考案とレビュー (時間数の制限なし)** : これは、CISA の試験、または学習教材の考案やレビューに関する活動です。ISACA の CISA 問題レビュー委員会が認めた問題 1 つにつき、2 時間、CPE 時間を獲得できます。これらの時間はすべての ISACA 資格に対して重複してカウントできます。公式問題のレビューを行った場合には、実際にかかった時間を獲得できます。
- **関連する専門試験の合格 (時間数の制限なし)** : これは、他の専門試験の合格を目指した活動です。合格した場合、試験 1 時間につき 2 時間、CPE の時間数を獲得できます。
- **ISACA の理事会や委員会での業務 (制限時間数: ISACA 資格ごとに年間 20 時間)** : これらには、ISACA の理事会、委員会、小委員会、特別委員会への積極的な参加活動、または ISACA 支部の幹部としての積極的な参加活動があります。実際に参加した 1 時間につき 1 時間、CPE の時間数を獲得できます。積極的な参加活動には、支部のウェブサイトの製作、実装および / または管理などが含まれますが、これらに限定されるわけではありません。これらの活動は、保持している ISACA 資格のそれぞれに対して複数回カウントできます。
- **情報システム監査および情報システムコントロールに関する職業に対する貢献 (制限時間数: CISA の報告時間に関連する活動すべての合計で年間 20 時間)** : これらの活動には、ISACA または他の機関のために行った業務で、情報システム監査および情報システムコントロールに関する職業に貢献する業務 (例: 研究開発、認定レビューマニュアルの開発、ナレッジセンターコントリビュータ、ピアレビューの実施) が挙げられます。CPE 時間は、貢献した実際の時間数を獲得できます。
- **メンタリング (制限時間数: 年間 10 時間)** : 資格保持者は、メンタリングにより年間 10 時間まで CPE 時間を獲得できます。これらの活動には、CISA 試験準備の指導、レビュー、支援、または組織、支部、個人レベルでの資格認定プロセスを通じたキャリア指導に直接関連するメンタリングが含まれます。メンタリング活動は、ISACA 試験の準備または認定によるキャリアの決定について特定の人を支援するものでなければなりません。実際に支援した 1 時間につき 1 時間、CPE の時間数を獲得できます。

CPE 時間数の計算

ISACA の適格専門教育活動、または ISACA 以外の専門教育活動や会議に積極的に参加した 50 分間 (昼食時間や休憩時間は除く) ごとに、1CPE 時間を獲得できます。CPE 時間は、4 分の 1 時間単位で獲得できるだけでなく、4 分の 1 時間単位で報告することもできます (一番近い 4 分の 1 時間に丸める)。たとえば、休憩時間が 90 分ある 8 時間 (480 分) のプレゼンテーションに出席した CISA は、7 (7.75) 時間、CPE の時間数を獲得できます。

計算例:

教育活動スケジュール	実際の時間数	分数
午前 9:00 - 午後 5:00	8.0	480
引き算: 15 分の休憩時間が 2 回	<.50>	<30>
引き算: 昼食時間 — 1 時間	<1.0>	<60>
専門教育活動の時間数の総計	6.5	390

CPE 時間数の計算

$390 \text{ 分} \div 50 \text{ 分} = 7.8$ 、つまり 7.75 (報告できる CPE 時間として一番近い 4 分の 1 時間に丸めたもの)

連絡先

ISACA Certification Department
ISACA
3701 Algonquin Road, Suite 1010
Rolling Meadows, Illinois 60008 USA

電話番号: +1.847.660.5660
ファックス番号: +1.847.253.1755
電子メール: certification@isaca.org

追加情報

www.isaca.org/cisacpепolicy

公認情報システム監査人 継続専門教育(CPE)方針

情報システムコントロール協会職業倫理規則

情報システムコントロール協会 (ISACA) は、協会の会員や公認情報システム監査人 (CISA) の資格保有者のために、専門家および個人としての行動のガイドラインとして、この職業倫理規則を規定しています。

この職業倫理規則を遵守できない場合、会員や資格保有者を調査し、最終的に懲戒処分を行うことがあります。ISACA の職業倫理規則は、www.isaca.org/ethics でご覧いただけます。

公認情報システム監査人 継続専門教育(CPE)方針

出席証明書 CISA 継続専門教育 (CPE)

CISA 証明番号： _____

_____ 下記の専門教育活動に出席しました。
(氏名)

タイトル： _____
(プログラムやコースの名称やタイトル)

日付： _____ CPE 獲得時間： _____

提供機関： _____

説明： _____

場所： _____

* プレゼンター (講師) 名： _____

署名： _____
(プレゼンター (講師) または承認者)

* 自身が専門教育のプレゼンターの場合は、コースの提供機関の署名が必要になります。

公認情報システム監査人 継続専門教育(CPE)方針

教育記録書式 (証明書は英語で記入してください)

名前: _____

CISA 認定番号: _____

報告期間: _____ ~ _____

活動のタイトル/提供機関	活動の概要	日付	CPE 時間	証拠文書の有無 (有/無)

注:このフォームを使って年間CPE時間を記録してください。
証拠文書は、3年間の報告期間の終わりに少なくとも12ヶ月間、保管するものとします。



3701 Algonquin Road, Suite 1010

Rolling Meadows, IL 60008 USA

電話番号: +1.847.253.1545

ファックス番号: +1.847.253.1443

電子メール: certification@isaca.org

ウェブサイト: www.isaca.org

